

愛媛県立上浮穴高等学校		全日制	普通科
所在地 連絡先	〒791-1206 上浮穴郡久万高原町上野尻甲 486 番地 Tel : 0892-21-1205 Fax : 0892-21-2050		
URL	https:// kamiukena-h.esnet.ed.jp		

<p>スクール・ミッション (期待される社会的役割、目指すべき学校像)</p> <p>久万高原町唯一の高校として、多様なコース選択と少人数指導により、生徒の進路希望に応える教育を推進します。また、町内外から生徒を募り、農林業や観光業等をフィールドとした体験学習を通して、持続可能な地域を創造し、未来を生き抜く人材を育成します。</p>
--

<p>スクール・ポリシー (入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針)</p>	
卒業までに育てる力	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p> <p>(1) 生涯にわたって主体的に学び続けることのできる探究心と確かな学力、ICT活用力を育成します。 (2) 個性に応じ、進路を切り拓き、社会に参画することのできる意欲と力を育成します。 (3) 地域の特色を活かした産業の活性化や地域の持続的な発展に貢献することのできる課題解決力を育成します。 (4) 自己の考えを相手に的確に伝えることのできる発信力を育成します。 (5) 人を思いやり、協働することのできる想像力、傾聴力を育成します。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p> <p>(1) 1学年で共通科目を学んだあと、2学年から、就職希望者及び私立大学、短大、専門学校等への進学希望者対象の「総合実学コース」と、国公立大学等への進学希望者等対象の「総合文理コース(理系・文系)」のいずれかを選びます。興味・関心に応じ、多様な科目選択もできます。また、学習の多くの場面で、一人1台端末を活用します。 (2) 少人数指導や徹底した個別指導、習熟度別講座、ICTを活用した課題の提供等を通して、学力の伸長を目指します。商業や家庭等に関する資格取得にも取り組みます。また、大学や地元産業等に関する進路研究を行い、自己の進路を見極めます。 (3) 「総合的な探究の時間(くまたん)」において、町内の行政、観光業、農林業等に関するフィールドワークを行い、地域の課題を発見し解決する力を高めます。また、ドイツ等での海外研修に参加し、持続可能な町づくりについて学ぶこともできます。 (4) 「くまたん」、委員会活動等での発表活動を通して、発信力を高めます。 (5) 町内の子ども園、幼稚園、小・中学校、高齢者施設等との交流学習など、多様な世代の方々との交流を通して、コミュニケーション能力を高めます。</p>
入学時に求める生徒像	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)</p> <p>(1) 本校普通科を志望する動機や理由が明白で適切であり、適性、興味・関心を有する生徒を、町内外から幅広く募集します。 (2) 学習活動に対する目的意識と意欲を有し、その成果が期待できる生徒を募集します。 (3) 部活動や生徒会活動などに熱心に取り組んできた生徒を募集します。 (4) 本校入学後は、ボランティア活動や地域行事等に積極的に参加し、地域に貢献しようとする意志がある生徒を募集します。 (5) 将来、地域を支え活躍しようとする強い意欲を有する生徒を募集します。</p>

愛媛県立上浮穴高等学校		全日制	森林環境科
所在地 連絡先	〒791-1206 上浮穴郡久万高原町上野尻甲 486 番地 Tel : 0892-21-1205 Fax : 0892-21-2050		
URL	https:// kamiukena-h.esnet.ed.jp		

<p>スクール・ミッション (期待される社会的役割、目指すべき学校像)</p> <p>久万高原町唯一の高校として、多様なコース選択と少人数指導により、生徒の進路希望に応える教育を推進します。また、町内外から生徒を募り、農林業や観光業等をフィールドとした体験学習を通して、持続可能な地域を創造し、未来を生き抜く人材を育成します。</p>
--

<p>スクール・ポリシー (入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針)</p>	
卒業までに育てる力	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p> <p>(1) 林業や林産物活用、農業に関する科学的知識と技能を身に付けたスペシャリストを育成します。 (2) 個性に応じ、進路を切り拓き、社会に参画することのできる意欲と力を育成します。 (3) 地域の特色を活かした産業の活性化や地域の持続的な発展に貢献することのできる課題解決力を育成します。 (4) 自己の考えを相手に的確に伝えることのできる発信力を育成します。 (5) 人を思いやり、協働することのできる想像力、傾聴力を育成します。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p> <p>(1) 1学年で育林、木材加工、園芸について一通り学んだあと、2学年から、3分野に分かれて専門性を高めます。また、大学等への進学に向け普通教科も選択できる教育課程を設定しています。 (2) 安心して実習に取り組めるよう段階的に授業を進め、チェーンソーや刈払機等の資格取得に取り組めます。また、地元産業等に関する進路研究を行い、自己の進路を見極めます。 (3) 林業インターンシップ(業界の先輩との交流会、高性能林業機械実習、スマート林業体験等)や町内の関係機関での実習等を通して、地域の課題を発見し解決する力を高めます。また、ドイツ等での海外研修に参加し、持続可能な森林資源の活用について学ぶこともできます。 (4) 農業クラブ活動、課題研究等での発表を通して、発信力を高めます。 (5) 町内の子ども園、幼稚園、小・中学校、高齢者施設等との交流学習など、多様な世代の方々との交流を通して、コミュニケーション能力を高めます。</p>
入学時に求める生徒像	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)</p> <p>(1) 本校森林環境科を志望する動機や理由が明白で適切であり、適性、興味・関心を有する生徒を、町内外から幅広く募集します。 (2) 学習活動に対する目的意識と意欲を有し、その成果が期待できる生徒を募集します。 (3) 部活動や生徒会活動などに熱心に取り組んできた生徒を募集します。 (4) 本校入学後は、ボランティア活動や地域行事等に積極的に参加し、地域に貢献しようとする意志がある生徒を募集します。 (5) 将来、農林業の担い手として、地域を支え活躍しようとする強い意欲を有する生徒を募集します。</p>